

## 第3期第2回生涯学習センター運営協議会 議事要旨

〔日 時〕2016年6月23日（木）9：30～11：30

〔場 所〕生涯学習センター 学習室1・2

〔出席者〕※敬称略

委 員：太田 まゆみ、大野 浩子、上村 まり、島田 忠次、白崎 好邦、辰巳 厚子  
中里 静江、中村 香、前田 美幸、柳沼 恵一  
以上 10名

事務局：板橋センター長、鈴木担当課長、小林管理係長、松田事業係長、高木担当係長  
中野担当係長、村田担当係長、渡部担当係長、齊藤主事（記録）

〔欠席者〕岩本 陽児、陶山 慎治

〔傍聴人〕2人

〔資 料〕別紙のとおり

### <議題>

#### 1. 生涯学習センターの役割と機能について

事務局：協議するにあたり、まずは事務局から、現状の4つの機能について説明させていただく。

- ① 全体計画推進機能・・・町田市生涯学習推進計画により計画的な事業実施を行い、生涯学習部の生涯学習を体系的に提供できる機能を担う。事業評価シートをベースとする事業評価により、PDCAサイクルを実施している。
- ② 関係機関との総合調整機能・・・学校教育、首長部局、市民団体や大学、企業等との関係調整の窓口としての機能を持つ。生涯学習センターはさがまちコンソーシアムの町田市の窓口。
- ③ 情報集約・発信機能・・・情報資料コーナーの拡充や生涯学習NAVIの発行により、生涯学習情報を一元的に提供する機能。
- ④ 学習相談機能・・・情報を効果的に提供し、生涯学習のコーディネーターとしての機能。

以上の4つの機能を具現化するための町田市生涯学習センターの事業体系について説明する。

#### ○課題等

- ・ホームページのアクセス数を伸ばし、維持していくこと。
- ・学習機会の提供として5,000部×年4回の生涯学習NAVIの発行を行っている。年間2500件のチラシ・ポスターの掲示や、近隣自治体からの情報も収集している。学習相談事業の現状については、窓口での団体登録の公開のみにとどまる。
- ・講師派遣制度の申請団体が固定化している。
- ・施設修繕事業において、毎年額が上がっている。
- ・多様化した市民ニーズに対応するために、生涯学習の調査・研究が必要であるが、取組みが進んでいない。
- ・全体を通しては、現在乳幼児から70歳以上と幅広い年齢層を対象とした事業を展開している。より効果的な事業を行うために、事業毎に対象参加者を絞り込んでいく。

#### （質問・意見と事務局の回答）

会 長：ポータルサイトの構築の現状はどうなっているか。生涯学習センター全体の情報を載せるのか。

事務局：他部署や民間も巻き込んだ、市内のイベントや人材情報を一括して検索ができるサイトを立ち上げたい。庁内にイベントカレンダーはあるが、生涯学習に関するデータベースとしての情報は少ない。版画美術館や図書館等は独自のホームページを持っているが町田市としての生涯学習の総合的なサイトを構築したいと考えている。現状は既存の市のホームページの充実させることに重点を置いている。

委 員：情報発信について、生涯学習NAVIの配布場所は限られているか。配布場所に取りに行けな

い人もいる。生涯学習センターの情報が十分に市民に伝わっていないのではないか。

委員：生涯学習NAVIの発行については広報に掲載し、各市民センター等100か所弱に配置している。情報誌「まちびと」より設置場所が少ない。

委員：社会福祉協議会との連携は行っているか。(関係機関との共催による学習機会の提供について)

事務局：市民大学福祉講座のプログラム開発について協力いただいている。社会福祉協議会を中心に介護保険の要介護1・2の人を支援する検討協議会が計画されており、生涯学習センターの参加を求められている。

委員：同様の事業は市内の連携により一緒に行って欲しい。

事務局：2年前に調査を行った結果、同様の課題を各部署が抱えている事がわかった。現在連絡会を立ち上げ、昨年は4回行ない、横のつながりを図っている。

委員：ロビーで学生が勉強などで利用しているが、サークル団体の利用以外にも、一部施設をフリースペースとして開放するなど、若者の利用促進を検討してはどうか。

事務局：趣味寄りの活動が多いことは事実だが、幅広い団体が活動している。団体活動コーナー等開放スペースでは学生の学習等の利用も認めている。

会長：講師派遣の講師謝礼が12,000円に削減されたことについて。

事務局：予算の都合で今年度から20,000円から12,000円になった。総額が決まっているので、団体数で調整する方法もあったが、多くの人に利用されることを目的とした。

委員：学習相談の件数について現況はどれくらいか。

事務局：すべて捕捉できてはいないが年間200件前後である。相談の質を上げることが課題。

委員：生涯学習センターは、相談しに行っても無駄足にならず良かったと思えるような、学習の機会や場の幅が広がるような「コンシェルジュ的役割」を果たして欲しい。

学習相談機能の質の向上のために、まずは相談件数、相談内容について、記録を残し、その内容を検証されたい。

ボランティアバンクについて、社協のボランティアセンターと内容は違うだろうが、NPOに一本化を任せることもできるのではないか。

事務局：「コンシェルジュ的役割」とは、中間支援組織という意味だと思うが、市としても議論している。

会長：組織の連携一本化を中心的に進めるべく動いているのは、市民協働推進課か。

事務局：そうである。

委員：土日等に若者向けの講座はあるのか。

子育て中の人対象の事業はあるのか。若者は新聞をとらないので、広報を見ないのでは。

事務局：若者が実際参加するかは別として、一部夜間に市民大学の講座がある。

若者対象の事業として、「町田コレクション」を行っている。市内の専門学校、大学などに呼びかけてファッションショーを中心にイベントを企画している。

事務局：子育て中の人対象の事業としては、月一回日曜日の親と子の学びのひろば「パパきしゃ」といった父親向けの事業がある。

事務局：さがまちカレッジでは、夏休みに子ども向け講座を行っている。

広報について、学生などから若者へのSNS発信は協力してもらっているが、現役世代への発信が課題である。

委員：目標を数値でどのように測っていて、課題に対する対応はどのように行っているのか。

事業のテーマが固定化して繰り返しになっている。一方で、「一億総老後崩壊と向き合う」等、切り口の良いテーマのものもある、「介護離職」や「格差」といった現代的なテーマを扱うことで、受講者も増えるのでは。

会長：全体の数値目標や、講座の設定をどのように行っているのか。

事務局：前回お配りした、「町田市生涯学習推進計画」が5か年(2014年度~2018年度)の数値目標である。今年が中間確認の年である。

委員：「まちだの学び」では、募集・参加状況が、詳細がわかりにくい。

事務局：「まちだの学び」は、冊子として見易くするため簡易な表記にしてある。事業評価シートの中で詳細に示す。

事務局：講座の設定については、市民大学はプログラム委員と協議する。ことぶき大学は、前年のアンケートをもとに職員の中で検討。家庭教育支援学級は活動団体の意見を参考にしている。市民企画講座は市民から提案された企画である。

委員：膨大な事業数があるが、重点を絞り込んだ、選択的な考えが必要ではないか。その中でセンターはどのような役割・分担をしていくのか。運営協議会の役割は何かを考える必要がある。

事務局：市としても、部としても、現場としても生涯学習センターのあり方を考えていく必要がある。委員の皆様から十分に意見を頂きたい。

委員：生涯学習センターは堅苦しくなく、知識があり親切に対応してくれるような、相談しやすい雰囲気があって欲しい。

会長：学習相談員は誰が担っているのか。受付のシルバー人材センターの方の役割は何か。

事務局：シルバー人材センターの方は施設貸出・管理をお願いしている。窓口業務は職員が当番制で行っている。

委員：社会教育主事はいるのか。

事務局：社会教育主事の発令はしていない。生涯学習センターとしては社会教育主事講習に職員を派遣し、専門性を高めている。

委員：生涯学習は①施設の維持②事業の実施③団体の育成である。生涯学習推進計画に団体育成の施策がないが、団体育成は行っているか。

事務局：各講座の修了後に、修了生のサークル化をうながしており、少しずつは出来ている。

委員：貴重な団体なので育てていくことが大切である。

会長：生涯学習センターの役割と機能についての課題も見えてきた。市民の学習ニーズにどう捉え、新しい活動団体の育成をどう行うかなど、次回以降検討していく。

## 2. 協議事項

(1) 2016年度生涯学習センター事業の企画についてそれぞれ説明をする。

- ① 市民大学後期・・・環境学、国際学、人間科学講座、郷土史、健康学、福祉、陶芸（入門講座・電動ロクロ体験講座）8講座を予定している。
- ② ことぶき大学後期・・・いきがい・音楽（歌）・健康（ヨガ）の3コースを予定している。
- ③ 平和祈念事業・・・8月1日（月）～8月7日（日）、昨年戦後70年目を迎えた翌年として、平和を考える機会となるよう、各世代を対象に参加しやすい企画を行う。
- ④ 夏休み子ども事業「プラネタリウムがやってくる！」
- ⑤ コンサート事業「リオ・オリンピックに先駆けて、南米の世界へ！情熱と哀愁のアルゼンチンタンゴ」

（質問・意見と事務局の回答）

○ことぶき大学と市民大学について

委員：ことぶき大学と市民大学の違いは何であるか。

ことぶき大学は現在無料だが、人気のある講座は抽選で参加が難しくなっている。生涯学習推進を目指し多くの参加を望むのであれば有料化（公平を帰す為には少額でも全講座有料化した方が良いと思われる）して講座数を増やす検討が必要と思われる。

委員：講師の数は講座の修了生が担うなどして、地域のコミュニティセンター等での講座数を増やして参加しやすくしてはどうか。

ヨガなど人気のある講座は、参加年齢層が70代で同じであれば、統合してはどうか。

事務局：市民大学は有識者と修了者からなるプログラム委員会で作られる。年齢制限がなく、わずかではあるが、若年層の参加もある。座学が中心であり、学んだことを地域に広めてもらうことを目的とする。ことぶき大学は60歳以上の人を対象に、東京都から高齢者対策の補助金を得てアンケート等を参考に職員が企画している。実技中心で、6回の連続講座。社会教育事業として行っているため単純には有料化とはならない。

事業の地域展開の必要性については、昨年度の市民参加型事業評価でも、ご指摘を頂いている。

委員：市民大学は1人1講座といったように、講座の申し込みに制限はあるか。

事務局：1人あたりの講座の申し込み数は、昨年度から制限を廃止した。

会長：同じ施設の中で「大学」という名前がついていて、その違いがわかりにくい面もある。整合性をとっていくことが課題であり、これまで通りでいいのか考えていく必要もある。

#### ○コンサート事業について

委員：コンサート事業は生涯学習センター以外の地域の市民センター等でも行えないだろうか。

事務局：コンサートは生涯学習センターを周知するための事業であるため、生涯学習センターで実施している。リピーターは毎回10パーセント程度で、実際に宣伝効果がある。

#### ○事業評価について

委員：運営委員会の委員として、評価をするためには、数字だけで評価するのではなく、委員自らが直接講座に参加して、受講生がどう感じ、どうなっていくのかを見て評価に活かすべきだ。

委員：個々の事業評価だけで終わるのではなく、全体像として捉えていく必要もある。

事務局：事前にご連絡頂ければ実際に参加することは可能である。

会長：是非積極的に参加して、評価に活かして頂きたい。

### 3. 報告事項

#### (1) センター長報告

市議会の一般質問で、生涯学習センターのあり方について、議員から2016年度の市民大学前期の町田市民法学についてと市民企画講座の選定について「内容や選定基準について偏りがあるのではないか、特定の主張を支持するのか」という質問があった。センターとして偏りはないと考えるが、今後のあり方として、より一層中立・バランスを意識していきたいと回答した。

#### (2) 事業報告

本来なら事業が始まる前に企画について提案していくところだが、①親と子のまなびのひろば「きしゃぽっぽ・パパと一緒にきしゃぽっぽ」②乳幼児の保護者向け家庭教育力アップ講座については既に事業が始まっていることを報告する。③2016年度市民企画講座については5団体が決定したので、講座内容については今後企画書を提示していきたい。本日お配りしたチラシの、和光大学との共催講座「アジアのビジネス最前線」も終了している。

#### (3) 東京都公民館連絡協議会の活動について

→東京都公民館連絡協議会委員部会の委員は、立候補により白崎委員に決定したことを報告。

#### ○活動報告

今年度第1回研修会が決定した。委員の方も是非参加されたい。

公民館活動をいかに活性化するか、いかに情報を発信して活動を理解してもらうかについて各々の公民館が苦勞している。情報交換の場で、生涯学習NAVI(春号)を紹介したところ反響があった。

### 4. その他

#### (1) ロッカーの抽選の立会人選定について

生涯学習センターの利用団体に貸し出しているロッカーの2年に1回の抽選会について、委員から2名の立会人を選出。

→1名は白崎委員に立候補をいただいた。もう1名は後日事務局まで申し出ていただく。

#### (その他の質問・意見)

委員：センター長の報告について、一議員の意見も大事だが、「学習したい」という市民の活動をバックアップすることも大切であるということを確認していただきたい。

委員：前回の会議の研修の中で、菌田委員が「運営協議会は個々の事業評価だけでは意味がない」とおっしゃられた。運営協議会の今後のあり方も決めていく上で、この意見は重要だと考える。追記していただきたい。議事録については、確定前に委員の確認を入れられたい。

事務局：第1回会議は報告が主であったので、議事録は事務局のみで作成しましたが、今後は事前に各委員にメールで配布して、確認・修正をお願いします。